

全体研修 全四回

全事業の職員がそれぞれの考え方や思いをお互いに知り合う場

概要

七事業の全常勤職員が集まり、合同研修を行いました。

全四回のうちの一回目。

＜働く上で大切にしていること＞を言葉にし、マップに貼り付けていきます。

全く異なる言葉でも、話し合いを重ねていくと似た意味がたくさん見えてきたことが印象的です。

Q.受講前と受講後の気持ちの変化を教えてください。

受講前 → 受講後

・わくわく → あっという間だった！

・初めての全体研修、緊張！ → みんなと話せてよかった！

・面倒 → 割と楽しかった。

・どうなるのかな？ → 楽しかった！もともと好きだったけどグループのみんながもっと好きになった。

・楽しみにワクワクしていました → 各個人の考え方や経験を聞いたり、自分の考えを話すことができてよかった。



よりぴあ 全六回

家庭訪問型相談支援の最前線にいる訪問支援員が共通のテーマで学び合い、支え合う場

概要

『よりぴあ』と呼ばれるこの研修では、家庭訪問型相談支援事業の支援者が対面型で様々なテーマで学び合いに取り組みます。

今回は＜子どもの心に潜む「人に言えない訳」とは＞というテーマをロールプレイング形式で行いました。

Q.本日の感想をお聞かせください。

・ロールプレイングで色々な場面を支援者として経験することが目的かと思いきや、母親や子どもの役になれたのがとても楽しかったです。母親役をしていると子どもを心配して声を強めてしまう気持ちがわかりました。

・子ども役をやることで支援者や大人に対する目線を感じることができました。自分の立場、役割を見直せる良い機会になりました。

・この研修を経て、自分たちが行う支援の大切さや、やりがいを見ることができました。また、他の人の言葉の選び方、接し方を見て、やってみたいと思いました。



アフタースクールPFS研修 全七回

児童発達支援、放課後等デイサービスの指導員が自発的に研修テーマを考え、実践する場

概要

他事業のスタッフを迎えて、様々な事業で関わる子どもとのエピソードや場づくりをする上で大切にしていること、印象的な出来事などを座談会形式で話し合いました。同じ団体内でも見え方の違いがたくさんあり、新鮮な気持ちで学び合うことができました。

Q.本日の感想をお聞かせください。

・もう一回、こんな形の座談会がやりたいです。

・他事業とのつながりが希薄なイメージがあったので、今回はみんなで話し合う機会ができてよかった。

・それぞれのお仕事の中で子どもたちのために惜しみなく、体や思いを遣(つか)って、エネルギーを注いでくださっていることが感じられ嬉しかった。



支え合うコト、学び合うコト

ピアサポート・ピアエデュケーション

愛知PFS協会ではワークショップ型を中心とした研修を事業別に年50回程度実施しています。

2023年度より講師派遣を承ります！

講師
受付中

PFSって？ → 『Personal Future Support』

誰もが自分の未来のために歩いていける社会を、いろいろな人との関わりの中で創り上げていってほしい。

ひとりひとりと向き合い、歩いていくという願いを込めています。通信制サポート校、児童発達支援、放課後等デイサービス、少年院の面会交流、居場所支援(支援型、交流型)、学習支援、家庭訪問型相談支援など幅広く子ども・若者、家庭支援を実践しています。

どんな研修？ → 『ヒトを知ること』

現場で働く職員の多くはゆとりを持つことができません。

事業の多くが開所中はもちろん、閉所後も報告書や明日の準備など精一杯の業務をこなしています。

2022年度、PFSではピア的な場づくり＜隣で働くヒトと知り合うコト＞から始めました。相手が大切にしていることや支援の在り方、考え方など改めて学び、支え合う機会をワークショップ型で実施しています。

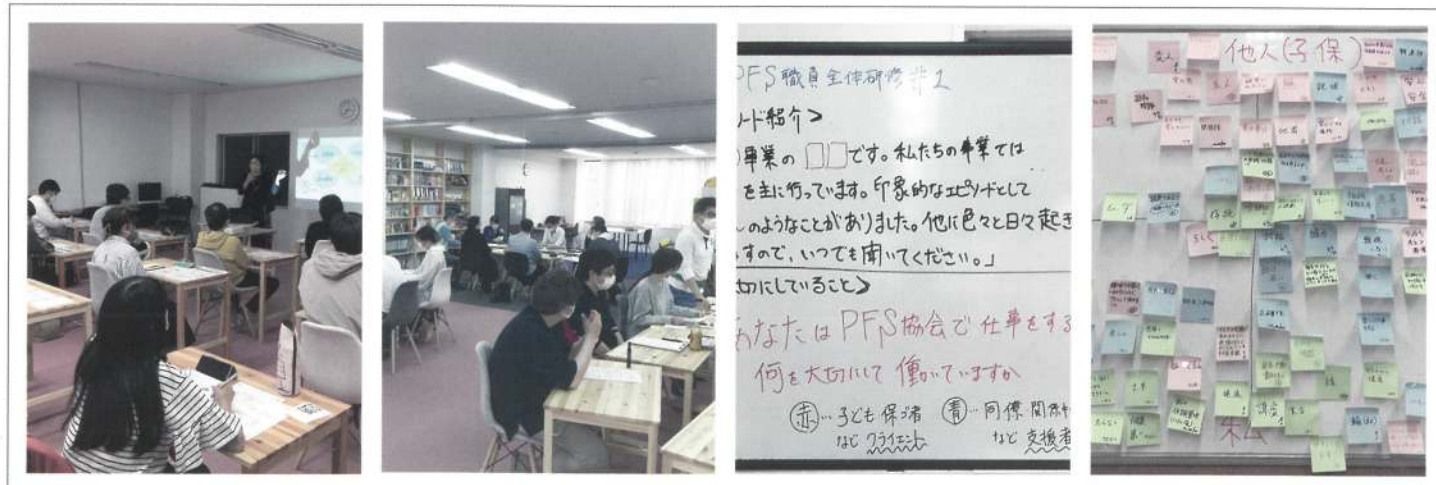
どうだった？

PFSが発足して9年目。

ようやく全事業で研修が実施できるようになりました。

一年かけて＜ピアサポート・ピアエデュケーション＞を大切にした関わり合いの土壌ができました。ヒトを知ることによって起きる変化は2023年度、見えてくる気がしています。

PFS研修担当
小林 宜正



PFS学習会

(中学生の学習支援事業／高校生世代への学習・相談支援事業)



大切にしていること

環境によって子どもたちの未来が制限されないよう、
一緒に体験に取り組み、一緒に学びに取り組み、一緒に悩み苦しみ、一緒に希望を見出してゆく。

名古屋市中学生の学習支援事業

下記対象者に対して無料の学習会を開催し、学習習慣を定着させ、学習及び進学の意欲や、児童の自立への意識を醸成するとともに、児童の居場所づくりの活動や、保護者の養育支援などを総合的に実施することで、対象世帯の自立を促進することを目的とします。

対象者

名古屋市内に在住の「生活保護世帯」「生活困窮世帯」「ひとり親世帯」の経済的に困窮した家庭の中学1年生～中学3年生の児童。
現在高校生世代で、中学生時代に学習支援事業を利用したことがある児童。

費用

参加費無料

連絡先

052-228-0280

管理責任者

櫻井 利雄(サクライ トシオ)

学習会に参加している子どもたちは様々な表情で会場まで足を運んでくれます。ワクワクした表情で開始時間よりも早く会場に来る子ども。試験前にイライラした表情をしながら来る子ども。友達とワイワイ話しながら笑顔で来る子ども。プライベートのことで落ち込みスゥーンとした表情で来る子ども。学習会ではいろんな表情で来てくれる子どもたちに寄り添い、一緒に学習を含めた様々な活動をしています。

ある日、普段のように学習会を開催し子どもたちが来てくれている中で、Aさんは会場に来てくれた途端に泣き出してしまいました。

そこで、サポーターの一人がAさんに近づき、一緒に外へ散歩に行くことにしました。散歩をしている間、Aさんは余裕がなく、話をする事ができませんでした。

途中、休憩できそうなベンチがあったので、そこに座り、Aさんが落ち着くまで時間を過ごしていると、Aさんから「友人関係でトラブルがあった」と話してくれました。少しずつその内容を話してくれる中で、Aさんの表情から余裕が徐々に出てきました。話を終えた後に会場に戻ると、Aさんは笑顔で別の参加者とコミュニケーションをとり、楽しんでいる様子を見せてくれました。

帰り際、Aさんは一緒にいてくれたサポーターに「少し楽になった」と声をかけ、学習会から帰っていきしました。

名古屋市高校生世代への学習・相談支援事業

下記対象者に対して、自主学習の場の提供による高校生活への定着支援や児童交流の取り組みを行うとともに、職業や進路、家庭環境や友人関係など様々な悩みに対する相談支援を行うことで、対象児童に自分の将来を考えるきっかけを提供することにより、学校から社会への移行を考え始める高校生世代の児童等に対して学習・相談を含めた包括的な支援を行うことを目的とします。
(※いずれも愛知PFS協会を含めた事業者によって市内150会場で実施されています。)

開所時間

毎週火曜日～金曜日の週2回または週1回。
18時～20時もしくは18時30分～20時30分
(会場によって曜日、時間帯が異なります。)

場 所

中区(中生涯学習センター、中消防署)
東区(東生涯学習センター、東消防署)
北区(北生涯学習センター、金城コミュニティセンター)



学習会に参加をしてくれる子どもたちは、中学高校生のこれから自分自身を作っていく思春期の中にいます。

PFSの学習会は、学習をすることはもちろんではありますが、子どもたちの表情(気持ち)に寄り添い、一緒に時間を過ごすことを大切にして運営しています。

なかなか話す機会のない大人(サポーター)と関わることができ、子どもたちが周りに話せないことを話すことができる、そんな子どもたちの居場所として、学習会はこれからもあり続けていきます。

アフタースクール PFS

(児童発達支援／放課後等デイサービス)



大切にしていること

ひとりひとりの個性・能力を尊重して、その子どもたちの発達段階やテンポに合わせた支援。
まずは、お家の次に“ホッ”とできる居場所に。

対象者

通所受給者証をお持ちの方

定員

10人／日 ※2023年4月現在

開所時間

月・水・金…10時～16時
火・木…12時～19時
※学校長期休暇中(夏休み、冬休み、春休み等)…10時～16時
※休業日…土日祝、年末年始

費用

ご負担頂く金額は、世帯所得に応じて上限の金額が定められています。

場 所

名古屋市中区大須1-21-35 1階
アクセス 地下鉄鶴舞線「大須観音駅」3番・4番出口より徒歩1分

連絡先

052-228-0281
アフタースクールPFS

管理責任者

竹内 まふみ

女の子のあこがれ! ネイル体験☆



アフタースクールPFSでは、手先の訓練や自己表現を楽しむことができるよう、様々なものづくりイベントを行っています。
2月と言えばバレンタイン。愛のこもったチョコに女の子の可愛さをプラスするようなイベントとして、「ネイル体験」を実施しました!
今回は衛生上の観点から、ネイルチップにジェルネイルやネイルシールを塗ったり貼ったりするという方法で行いました。
細筆でネイルチップに器用に絵を描く子や、乾いたジェルネイルに可愛いシールを選んでセンス良く貼っていく子など、思い思いの作品を楽しそうに作っていました。
今後も子どもたちが「楽しい!」と思えるイベントを考えていきます!

他にもこんな活動をしています



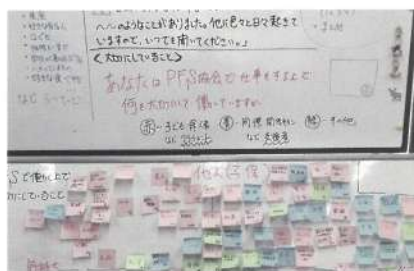
- ・TVの大画面にWiiスポーツやスイッチをつないで、スマブラ、マリオカート、スプラトゥーン3など、スタッフや利用者間で対戦。
- ・トランプ、ウノ、かるた、カードゲームなど、多人数でワイワイしながらコミュニケーション力を育む。
- ・近くの公園でボール遊び、バドミントン、鬼ごっこをしたり、所内のウッドデッキで卓球をして体を動かす。
- ・少人数で近隣の街かど探索。
- ・昼夜逆転していて、まだ寝不足だったら、昼寝もOK。

辛かったり、悲しかったり、不安だったりする時、一緒に寄り添って話を聴けるスタッフでありたいと思っています。

Gallery



グループディスカッション



職員全体研修のまとめ



手紙を使ったロールプレイング



スタッフも講師として登壇



動画研修フォローアップ



動画研修より抜粋

会報誌制作協力

株式会社たなごころ(就労継続支援A型事業所)／株式会社ビジョンクリエイツ

BRIGHT FUTURE

変化すること

変わらないことの良さ、変わっていくことへの喜び
人は本能的に変化に抗うものだという考えを聞いたことがある。
確かに団体内でも関わる家庭内でも、変化をしていくことに抵抗があるのは否めない。

「今のままのあなたでいいよ」
この言葉の何とも言えない違和感を個人的には覚えてしまう。
今のまま＝変わらない、変わる必要がない
そんな言葉に思えるからなのだろうか？

私たちの関わる子どもや保護者は、無力感や不安感、
もしかしたら生きる意味の喪失感や絶望感といった感覚を少なからず持つ。
未来が真っ暗で見えない…
だからこそ、欲しいのは同情や憐れみではなく、顔を上げ立ち上がる誇りや
今を自分の足で歩く勇気、そしてそのための他者の温かいまなざしかもしれない。

変化を楽しむこと
それはとても難しいことだが、少なくとも私たち支援者はそうでありたいと願う。
「少しでもあなたの人生が良くなりますように…」
そんな願いを抱きつつ私たちは共に成長していく道を模索している。
そのためには変化を成長の過程として受け止める感覚を持っていたい。
そして誇りや勇気を持つとう立ち上がった人に向けこう伝えたい。
「今のままのあなたでいいよ」

一般社団法人 愛知PFS協会
代表理事 星野 智生

コラム

vol.4

PFSに関わってくれている支援者さんに聞いてみた PFSってどんなところ？



大岡 怜愛(おおおか れな)さん

Q1. PFSに関りがある部門
学習会

Q2. PFSで初めて関わった時のエピソード

PFSで初めて子どもたちと関わったときは、どのような子どもがいるのか未知だったため、
何て声かけようかな？と考えていた記憶があります。最初は子どもたちの好きなものを聞き、
知らないことは調べながら会話を楽しむことから始めました。中には人見知りをする子ども
もあり、話しかけても無言なときもありました。
ですが、子どもが慣れるまでいつまでも待ち続け、少しずつ話せるようになりました。
今では嬉しいことも悲しいことも一番に報告してくれるぐらい仲良しです。

Q3. PFSに関わる方へ

日常生活ではたくさんの選択があると思います。歳を重ねると、自身の経験から選択をすること
が出来ますが、中学生という多感な時期は自信を失うことや他者に劣等感を抱くこともあり、
つい自分の選択に正解や不正解をつけたくなくなってしまうこともあります。PFSには
何事にも正解や不正解の考えはありません。ひとりひとりの選択を尊重し受け入れる素敵な
場所です。PFSでは自分をたくさん表現し愛してくださいね。

徳田 尚司(とくだ ひさじ)さん

ご経歴

大学院で歴史学を専攻。現在は名古屋市内の中学校で社会科非常勤講師としても勤務。

Q1. PFSに関りがある部門

中学生の学習支援事業と通信制サポート校名古屋みらい高等学院の公民科の非常勤講師

Q2. PFSで初めて関わった時のエピソード

今から7年くらい前に、ある中学校で非常勤講師として勤務しているときに同僚の非常勤講師が
通信制サポート校名古屋みらい高等学院で非常勤講師をしており、その縁で通信制サポート校
名古屋みらい高等学院に公民科の非常勤講師としてPFSに came。同時にPFSで中学生の学習支援事業が始まり、そちらの方も関わっています。現在は、中学生
の学習支援事業を中心に関わっています。

Q3. PFSに関わる方へ

現在、PFSは学校が苦手な子どもや様々な問題を抱える子どものサポートをしています。
様々な困難を抱える子どもたちが将来、社会を支える大人になれるようにPFSスタッフ一同、
励んでいます。私もこうしたPFSの活動に賛同し、微力ながら貢献できたらと思います。

